



議会だより

あさぎり

No.45
H27.5.7 発行

あさぎり町議会

通年議会
第8回会議

| | |
|------------|--------|
| 一般会計当初予算 | 2P |
| 地方創生予算を計上 | 9P |
| 一般質問に8人が登壇 | 10～13P |

特集:あさぎり中学生一日議会(P8～P9の間)

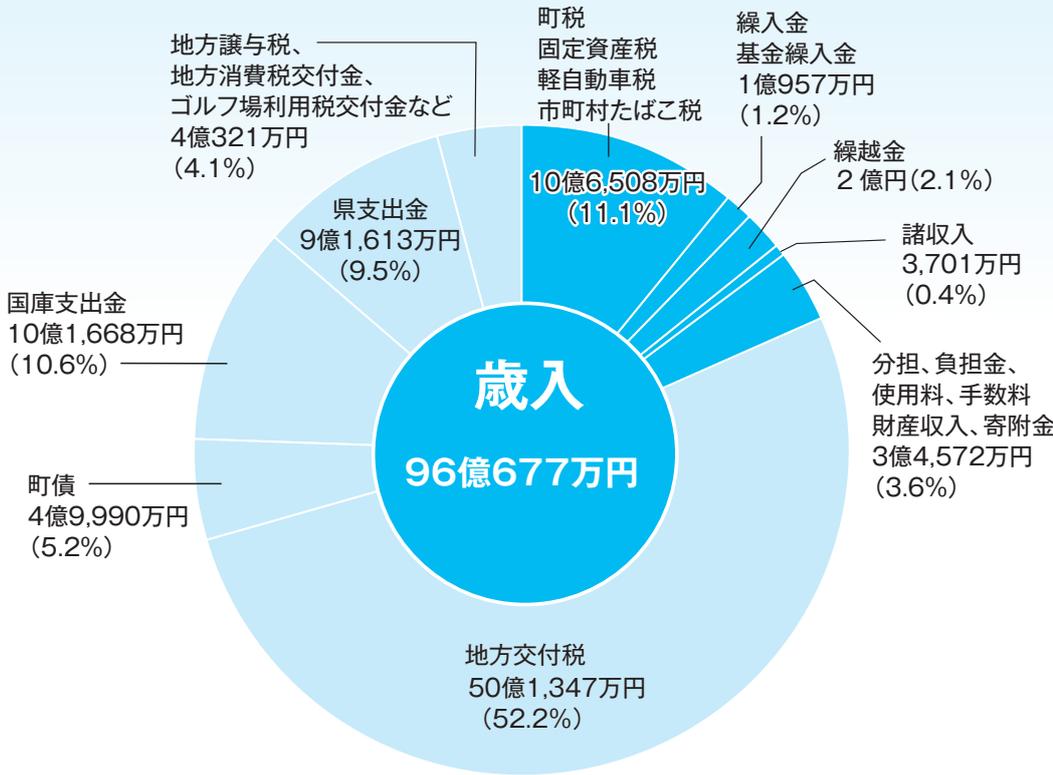


希望を胸に新たな一歩

平成27年度は町長改選の年に当たり、当初は骨格予算です。改選後6月議会で新町長の政策的予算として増額されます。

一般会計当初予算

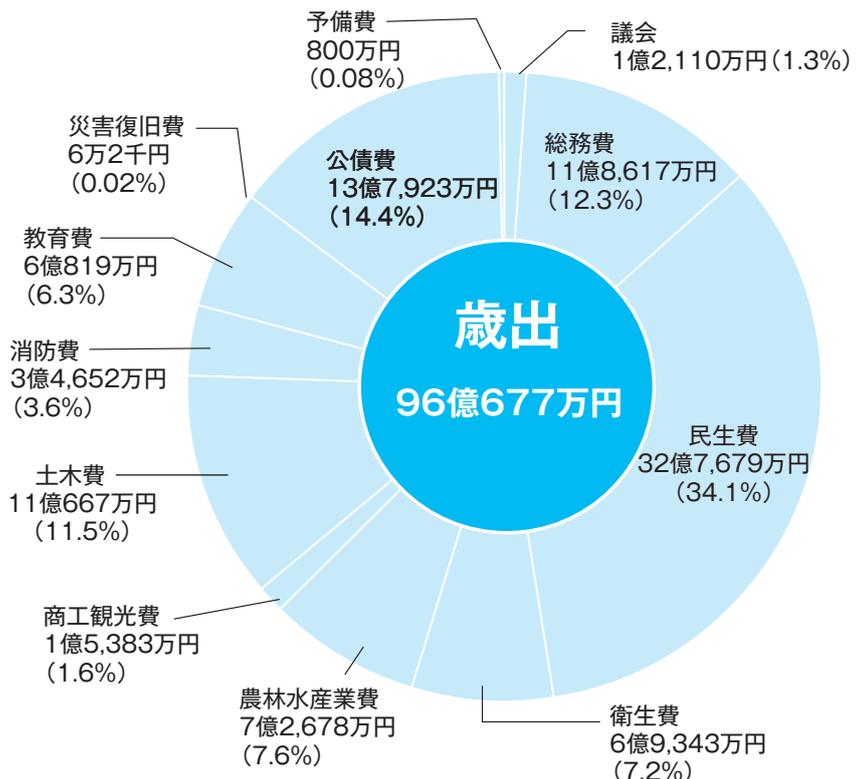
96億677万円



会計別の予算額

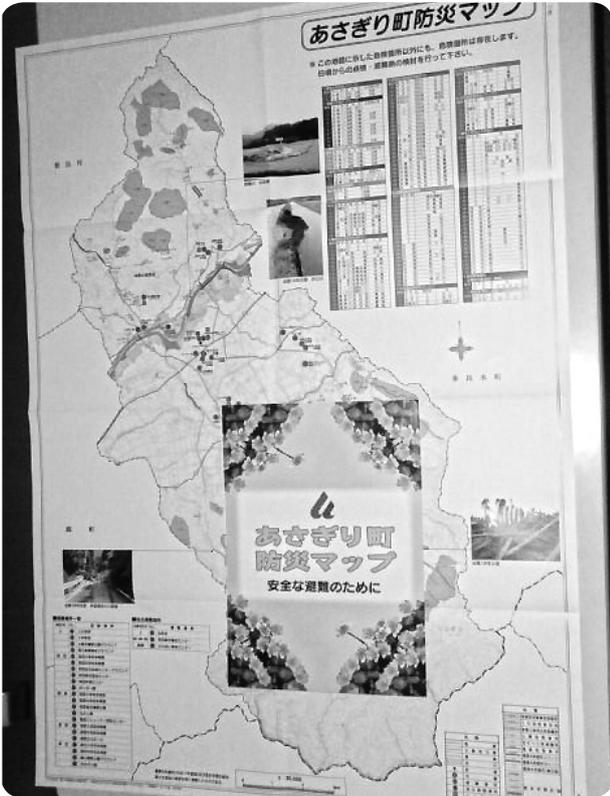
| 総額 | 152億5,668万円 |
|--------------|-------------------|
| 一般会計 | 96億677万円 |
| 特別会計 | 56億4,991万円 |
| 特別会計内訳 | |
| 国民健康保険 | 23億262万円 |
| 後期高齢者医療 | 1億8,463万円 |
| 介護保険 | 18億7,652万円 |
| 介護サービス | 191万円 (介護保険会計へ移行) |
| 簡易水道事業 | 3億2,110万円 |
| 水道事業 | 7,540万円 |
| 下水道事業 | 7億8,598万円 |
| 上財産区 | 5,656万円 |
| 球磨郡障害者認定審査事業 | 1,061万円 |
| 球磨郡介護認定審査事業 | 3,458万円 |

*水道会計は収益的支出と資本的支出の合計です。
*千円以下は四捨五入しています。



総務文教常任委員会所管課分

（総務課・会計課・企画財政課・教育委員会）



危険箇所を示す防災マップ

問

区の運営助成金は1地区1万円増額されているが、自主防災組織の整備補助金はなくなつた。今後、防災意識の周知徹底はどのようにしていくのか。

答

今回の助成金の考え方の中に自主防災組織の助成の意味も含めた。これまで各地区ごとに防災訓練を行った。土砂災害危険地域が町内に20箇所前後あるので、第1避難勧告地域という指定をして、防

災意識を高めていきたい。

問

支所のあり方については人員や業務内容の見直し等、今以上に効率的であるべきだと思うが。27年度に2人体制で実際にできるか検証する年にして欲しい。

答

27年度に総合窓口化に移行する。支所の業務時間内に多様な業務ができ機動性を持てるように、二人体制についても見極めたい。



来庁者の利便性を目指した総合窓口

問

総合窓口化の取り組みの中で若い人たち向けにタッチパネルの導入等考えてみてはどうか。

答

機械の維持費もかかるために、今回の改修では考えていない。

問

交通指導員の処遇改善について、何らかの形で対応できないか。

答

今回Yシャツの備品購入をするが、外套着や制服・上着など財政が許せば今後

更新できないか検討を行ってきたい。

問

今年度1万円以上のふるさと寄付金については、4割の返礼を予定しているが、取り扱い窓口はふるさと振興社となるのか。農家や生産者、製造者の利益収入になることの想定はできているのか。

答

返礼については、どれくらい注文がくるかまだわからない状況なので、ある程度の量が確保できるものを選んでいる。主婦感覚の商品構成も非常に大事。第2段階としてふるさと四季の野菜や果物等の詰め合わせなど当然考えて良いと思う。

問

スポーツ競技全国大会出場者紹介の看板をポッポ館前等のもっと目立つところに設置できないか。

答

駅前の整備も進んでいるので、今後デジタ

ルの大きな案内板表記のものの金額や表示内容を検討したい。

問

球磨川マラソン大会では、今年ハーフコースも取り入れるので、ワイナイナさんのように知名度の高いゲストを呼び集客率を上げる工夫をしようか。併せて宿泊や購買効果につながるために自主文化事業とタイアップして講演会を入れてみてはどうか。

答

文化ホールの自主文化事業については、年度計画で交渉中。予算付けに関してはマラソン大会の実行委員会で検討されると思うが、同じ教育課の中に大件事務局もあるので検討させていただきます。

問 今回深田仁王地区の木造化財に指定されたのち、今後全国から足を運んでもらえるような環境の整備が必要では。

答

現在答申中であり、5月には国指定となる見込みの中で、地域的な観光としての位置づけを行い駐車場や道路の改修等も手がけていく必要がある。担当課で国に要望書を提出しているところ。



人吉球磨観光ルートに新たな期待が持たれる国の重要文化財に内定した三立像の一つ木造毘沙門天立像

(深田荒茂)

問

消防団の事業開催日程について、団員から出初式を日曜日に開催できないかとの声を多く聞く。年の初めに団員が揃って参加できる体制作りが大切では。

答

上球磨消防連合会との兼ね合いもあるが本町では、第2日曜日の線で調整している。

厚生常任委員会所管課分

(税務課・町民課・福祉課・保健環境課)

問

26年度よりヘルシーランド、温泉交流センター(温華乃遙温泉)の指定管理は利用料金制度を導入した。自主的な経営努力を発揮しやすく、効率的な運営を図り、コストを下げる事を目指したが、27年度の実質的委託料は増加している。その要因は(決算済の25年度決算と比較)。また今後はどう考えているのか。

答

委託料の増加は職員、有期契約職員の給料アップや機械のメンテナンス料金である。使用料金の検討も含め、この2年間で町の温泉施設の方向性を位置づける。

問

障がい児通所支援費が2,000万円ほど増えているが。

答

利用者の増加と町内に障がい児通所施設ができたことと、今年4,129万2000円となった。

問

健康ポイント報償費は健康増進に対する意識を高めることにつながる。だがまだ周知が徹底できていない部分もあるのでは。



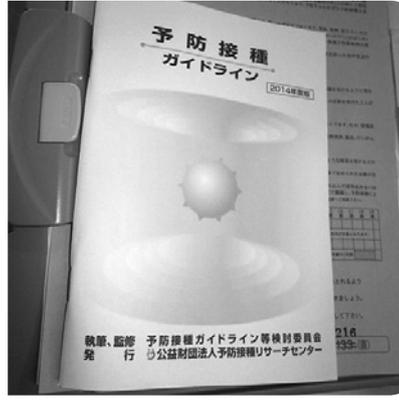
健診を受けてポイントゲット

答

健康ポイントの報償費について、26年度は1,200人分計上していたが、現状は400人程度の交換であった。高齢者が対象になりやすい制度であったので、年度途中から若い人たちも対象とした。

問

乳幼児の保護者に配付される予防接種本が作られたが、接種時期に病気や入院された子供の保護者が不安にならないような、医療機関・保護者と保健師の関わりは。



予防接種のわかりやすい冊子を作成中

答

保護者も管理しやすくなるように、乳幼児の予防接種の問診表と注意書きを1冊にまとめ、170冊作製する。妊婦さんにはプレママ教室、出生後は赤ちゃん訪問を実施し、接種や子供の健康管理について指導している。

問

汚染物の処理では、公共施設の水銀体温計などがあるが処理の範囲を家庭にも広げる考えは。

答

今回は公共の施設が対象、熊本県が水銀フリーの社会を目指している。その中の処理をどうするか、検討している状況。

問

あさぎり有機センターへの生ごみ排出についての取り組みと、事業系のごみの状況は。

答

免田地区と上3行政区での地区は旧役場を中心に拠点方式で今後3ヶ所を考えている。事業系のごみについては、10月から始めた回収の成果から昨年より56トン減少している。現在生ごみの分別に協力いただける事業所だけ回収している。

建設経済常任委員会所管課分

(農林振興課・商工観光課・建設課・上下水道課)



栽培が増加しているミシマサイコ

問

薬草加工場建設の進捗状況は。

答

3月11日、薬草関係の加工場建設に伴う打ち合わせで、株式会社ツムラと組合の三役で協議をしたところ。まだ具体的な加工場の規模や面積や場所については決まっていない。ひとつの候補地として免田畜産センターが上まっているが、今後関係者と話を詰めていきたい。

問

ふるさと振興社助成金は、改革により毎年50万円ずつ減額し33年でゼロにする予定とある。今後3年で再生に向けての中間計画がだが、1年目で思うような数字がでない場合はどう運営していくのか。

答

年度ごとの計画の達成率が、今後の取り組みの大きな目安になる。しかし、今ふるさと振興社として新たな商品開発や取引先とのやり取りの可能性が出てくる場面も想定される。1、2年は全体の動きを見ながら、3年後に継続か、廃止か、民間に委譲するかを判断したい。

問

ビハ公園の3台のトレーラーハウスの更新は外国製のものではなく、町産材を使って建設しては。トレーラーハウスの利用希望調査を行ったのか。

答

ビハ公園は保安林の指定を受けており固定の建物ではない。今回は今あるトレーラーハウスを撤去して新たに購入するもの。子供たちに非常に好

評であり利用者からの要望もあると聞いている。また一台の価格は430万円位、ログハウスだと1,000万円余りかかってしまう。



老朽化したトレーラーハウス

問 緑の街づくり事業は育苗から花植までの事業であるが、花づくり講習会を開催し、花づくり運動を展開してはどうか。また育苗場所も幸福駅に近いので、田園シンフォニーを活用して花づくりのイベ

ントに参加してもらうなど計画しては。

答 現在、苗づくりを専門に、年間12〜13種類の苗を作っています。主に公共施設や公民館、老人クラブなどに配布している。27年度から本格的に、おかどめ幸福駅を使った部分での計画を考えている。計画の中に町をあげての花いっぱい運動も検討してみたい。

現在、苗づくりを専門に、年間12〜13種類の苗を作っています。主に公共施設や公民館、老人クラブなどに配布している。27年度から本格的に、おかどめ幸福駅を使った部分での計画を考えている。計画の中に町をあげての花いっぱい運動も検討してみたい。



田園シンフォニーと共に

問 中山間地直接支払い事業地域に、多面的機能支払い交付金の資源向上(長寿命化)を重複して取り組む事で平坦地と北部地域の格差がますます広がるのでは。

答 一番のメリットは、多面的の部分の交付金を使うことで、財政的にもかなりの町の予算減に、また土地改良区においても農家の負担軽減につながる。北部地域はほとんどが畑地帯のため、現状の中山間地域の制度では条件に当てはまらない。川辺川の事業地区については、国に対しては制度の見直し、県に対しては県知事が特に認める地域としてもらうようお願いしているところ。

中山間地直接支払い事業地域に、多面的機能支払い交付金の資源向上(長寿命化)を重複して取り組む事で平坦地と北部地域の格差がますます広がるのでは。

問 農地中間管理機構の経営転換協力金の存在を知らない高齢者がいる。この存在を知らずに農地の貸し借りをして協力金を受け取れなかった事例が出てきている。情報の把握と適正な指導をどうしていくのか。

答 農地中間管理事業については、農林振興課・支援センター・農業委員会の三位一体で取り

組んでいる。認定農家や集落営農に参加している方には説明したが、今後は周知を図っていく。

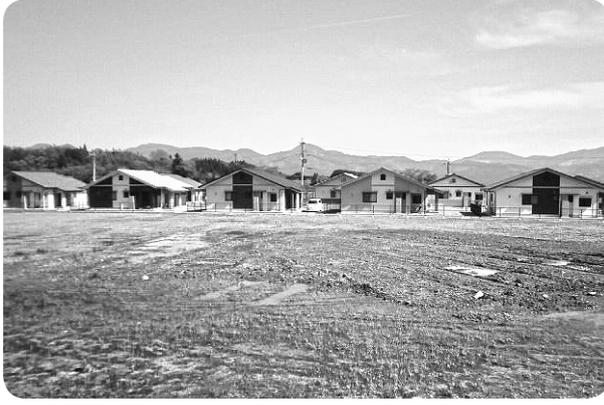


耕作放棄が心配される北部の畑地

総括質疑

問

町の住宅の長寿命化計画は、今後改修・解体が主になる。家を建てたいが土地がない方のために須恵中央ハイツ横の空きスペースを分譲できないか。



今後分譲地としての活用も

答

抽選に漏れた方からも何とか住宅が欲しいとの声も上がっている。空きスペースについては、議会の了解を得て宅地の分譲等も行いたい。

問

買い物支援や、病院通院などの交通手段の充実を図るデマンド交通への取り組みは。

答

人吉球磨地域公共交通形成計画策定の中で、デマンド交通を考えていきたい。町中のバス等での買い物支援をどうするかは、総合的な組み合わせを今検討している。

問

温泉施設やふるさと振興社については、近いうちに重大な決断を下すとある。改革を成就するには関係者やその利用者、住民に対する懇切丁寧な説明に取り掛かる時期だと思う。検討委員会を立ち上げてはつきり形が見えるようにするべきでは。

答

検討委員会で各テーマ毎に議論し、今後町が方向性を定めて検討を進め、段階的に情報をしっかりと町民の方に伝えていくようにしたい。

問

P.T.Aは任意団体であるが、教職員の日常業務や夏休みなどの行事参加については公務か。国の交付金にかかわる任意団体の業務を担っている役場職員が、仕事がしやすくなるための整備が必要では。

答

P.T.A活動について校内においては公務の一環として活動することが多い。任意団体の事務に關しては、役場職員がその業務に従事することは基本的に避けなければならぬし、安心して仕事ができる仕組みづくりは大事。県や他の自治体の事例を見ながらひとつずつ整理をしていきたい。

問

地域づくりを進める上では、人材が育つかで町の将来が決まる。職員のスキルを上げるためのひとつとして、議会の先進事例研修の際に担当課長に加え、もう一人若手の職員を同行させてみてはどうか。

答

全国研修や全国協議会等の先進事例もあるので、職員の事務的能力の向上に併せて先進事例研修を町づくりはどう活かすかが大事な事だと思ふ。今年度は、町立保育所職員の今後の配置換え等に対応できるように研修を予定している。

問

特定健診の受診率が25年度は59・5%、26年度は56・4%と下

がっているがその要因は。

答

働き盛りの方の受診率を上げるために、保健師、町民課とも協力して未受診者対策も行っている。しかし、今まで欠かさず健診を受診していた年代が75歳より上になり特定健診枠から外れたことも受診率低下の大きな要因と考えられる。



特定健診受診で生活習慣病予防を

条例の制定及び改正 抜粋

| | | | | | | | |
|------------------|--|----------|-----|----------|---------|-----|----------|
| 議案第52号 | <p>債権管理条例</p> <p>町の債権管理の適正化を図り、公平かつ円滑な行財政運営に資するため、町の債権の管理に関する事務の処理について必要な事項を定めるもの</p> | | | | | | |
| 議案第53号 | <p>町費負担教職員の採用等に関する条例</p> <p>「夢や希望を持ち、明るくあしたを拓く、人づくり」の推進を目指す町立小学校において単式学級を実施し、教育の機会均等を図るために任用する教諭及び助教諭の採用、給与及び勤務条件に関し、必要な事項を定めるもの（平成32年3月31日限りで効力を失う）</p> | | | | | | |
| 議案第57号 | <p>印鑑条例の一部を改正する条例</p> <p>住民票や戸籍、印鑑登録証明書等の交付に係る申請書様式を統一するために、条例の一部を改正するもの</p> | | | | | | |
| 議案第60号 | <p>町有林管理条例等の一部を改正する等の条例</p> <p>町有林及び上財産区有林の山林監視員の雇用形態を委託業務に変更するために、条例の一部を改正するもの</p> | | | | | | |
| 議案第66号 | <p>廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>粗大ごみを収集運搬するため、あらたに処理手数料等を定めるもの</p> | | | | | | |
| 議案第69号 | <p>下水道条例の一部を改正する条例</p> <p>排水設備設置に関し適正な取り扱いとするため、申請者が受益者分担金を納付しないときは、当該排水設備等の公共下水道への接続を拒むことが出来るように条例の一部を改正するもの</p> | | | | | | |
| 議案第70号 | <p>下水道事業受益者分担に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>受益者分担金に関し適正な取り扱いとするため、分担金を賦課する建築物等は、賦課対象区域に汚水を排除する設備を有し、かつ使用されている建築物等とし、設備を有しない建築物等については、汚水を排除する設備を設置し、かつ、使用するときから分担金を賦課するように条例の一部を改正するもの</p> | | | | | | |
| 議案第71号 | <p>消防団条例の一部を改正する条例</p> <p>今後の消防団員数が定数に満たないことが見込まれるため、「720人」を「700人」に改めるもの</p> | | | | | | |
| 議案第81号 議案第82号 | <p>権利の放棄について</p> <p>居所不明、生活困窮、事業廃止（倒産）、死亡などにより債権回収が著しく困難、不能又は不相当である簡易水道料金債権、上水道料金債権を放棄するもの</p> <p>放棄する件数・債権額</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(1) 簡易水道</td> <td>63件</td> <td>970,190円</td> </tr> <tr> <td>(2) 上水道</td> <td>47件</td> <td>427,354円</td> </tr> </table> | (1) 簡易水道 | 63件 | 970,190円 | (2) 上水道 | 47件 | 427,354円 |
| (1) 簡易水道 | 63件 | 970,190円 | | | | | |
| (2) 上水道 | 47件 | 427,354円 | | | | | |

地方創生予算を計上

平成 26 年度一般会計補正予算（抜粋）

繰越明許費（平成 27 年度に繰越して実施します。）

| 事業名 | | 総額 |
|---------|---|--------------|
| 生活消費支援型 | おまけ付き商品券発行事業補助金 消費喚起の為に商品券 10% + 5% = 15% | 2,250 万円 |
| | 生活応援商品券事業 低所得世帯 1 人に 4 千円商品券 | 1,958 万 2 千円 |
| | 子育て応援商品券事業 第 3 子以降に 5 千円商品券（H 27 年 5 月 1 日基準日で中学 3 年生まで） | 845 万円 |
| 地方創生先行型 | 人口ビジョン・総合戦略策定事業 人口推計と調査分析、空家台帳を作る為の基礎調査 | 1,282 万 7 千円 |
| | 結婚子育て支援事業 結婚対策強化及び公共施設へ授乳室の整備 | 550 万 5 千円 |
| | 農業支援センター事業 農家版相談窓口化体制づくり | 494 万 3 千円 |
| | 販路開拓強化事業 情報化、人材育成支援及び商品づくりの環境支援 | 1,457 万 1 千円 |
| | 観光振興対策事業 観光振興計画・町の観光パンフレット作成 | 687 万円 |

※子育て応援商品券事業……第 1 子、第 2 子に 3 千円商品券（町単独事業） 591 万円

請願

「手話言語法（仮称）」制定に向けた意見書提出請願について

手話が音声言語と対等な言語である事を広く国民に広め、聞こえない子供が手話を身につけ、手話で学べ自由に手話が使え、更には手話を言語として普及・研究する事ができる環境整備を目的とした「手話言語法」（仮称）」の制定を求める意見書。

採択し政府に意見書を提出

要望

須恵諏訪神社から松ヶ野地区町道舗装要望について

建設経済常任委員会では、下記の条件を付して採択した。

- 1、工事費に関しては、多良木町、県との協議を踏まえ、応分の負担をお願いする事。
- 2、工事後の維持管理費についても、可能な限り多良木町、県に対して応分の負担をお願いできるように協定書を交わす事。

※訂正とお詫び…前号で意見書提出とありましたが、審査中でありました。

■平成 26 年度 第 8 回 議案表決一覧（抜粋）

| 議案名 | 議員名 | 加賀山 | 橋本 | 久保 | 小出 | 森岡 | 徳永 | 豊永 | 山口 | 永井 | 皆越 | 小見田 | 奥田 | 田原 | 溝口 | 久保田 |
|-------------------------------|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|
| あさぎり町町費負担教職員の採用等に関する条例の制定について | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成 26 年度一般会計補正予算（第 8 号） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成 27 年度一般会計及び特別会計予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

8人が登壇

責任においてそのまま掲載とします。

問

多面的機能支払交付金活動組織の町内統一広域協定設立の経緯と将来を見据えての指導方針は



豊永 喜一 議員

豊永 平成19年度より、農地・水環境向上対策としてこの事業が始まり、現在では事業名等が変わり、趣旨としては、農業・農村の持つ多面的機能（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）を発揮するため、地域で行う適切な維持管理活動の必要な経費として、地域の農地の範囲にに応じて交付されるものであるが、平成27年度の対策方針として、多面的機能支払交付金活動組織の町内統一広域協定設立の案が出された。また、平成27年度からは法制化されるが、どのような経緯と今後具体的に将来を見据えて指導していくのか。

農林振興課長 従来、町では中山間地域直接支払いと多面的機能支払交付金は、重複させない方針で



地域総出の溝さらえ

あったが、中山間地域においては獣害対策等で経費がかさむ事と多面的機能支払交付金と重複させる事によって、水路の更新等に非常に有利になる。予算を一体的にとらえることが出来るので全体を被せて広域協定運営委員会を設立して、全部で事務をとった方が有利になる。

◎その他の質問

産業活性化基金の活用について

一般質問

問 地域農業再生協議会の業務は公務ではないのか



溝口 峰男 議員

溝口 地域農業再生協議会の業務は農林振興課職員が行っているが、この業務は公務ではないのか。

総務課長 公務ではないというのが町の見解である。

溝口 県や他の市町村は、公務として業務を行っているのに、あさぎり町だけが公務ではないと言って責任を逃れている。そのような対応でいいのか。職員は責任ある仕事ができないが。

総務課長 任意団体の業務の取り扱いについては、きちんと整理をして法的に過失がない状態にする。

溝口 空き家対策の促進に関する特別措置法が成立した。早急に町も空き家対策条例を提案し町民の不安解消に努めるべきではないか。町が提案しなければ、総務文教常任委員会で提案

してもいいが。

総務課長 空き家としての判断基準等、政省令などと整合性がとれたものにしなくてはならない。まず調査に着手し計画等を作成していく。

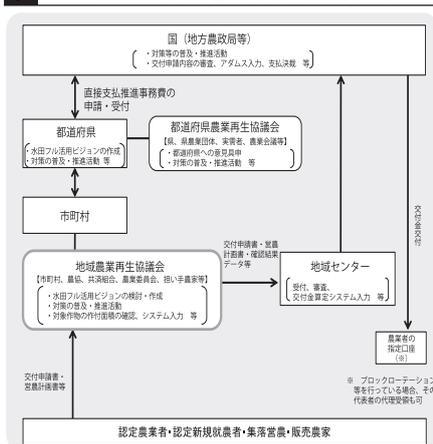
溝口 企業誘致を行ううえにおいて町の財産（行政財産）を勝手に売ったり貸したりできない。しっかりとした手続きを踏んでいかないと町益を損なうことになるが。

町長 一つ一つの案件では、後からここが違っていたという様な事がないようにしていく必要がある。なお慎重に事を運んでいく。

◎その他の質問

・皆越分校跡地活用について
・深田銅山川の新地溝への堰の高上げについて

9 経営所得安定対策等の実施体制



議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

※一般質問の文章については、質問者の

問 婚活を促進する為にも条例の改正を



徳永 正道 議員

徳永 国が掲げる地方創生の政策の一つに人口減少、少子化を阻止する狙いから結婚支援、出産、子育て支援がある。本町においても結婚の支援策として結婚対策委員会を設置してあるが、これ迄条例が施行されてからの活動状況、又成果としてどれ位あっているのか伺いたい。

商工観光課長 22年度には年8回、24年度は数回情報交換等の会議を行っているが、現在は休止の状態である。

徳永 県内の自治体でも色んな婚活事業への取り組みがなされているが、その件で一番ユニークな取り組みだなと感じたのが、山鹿市で取り組みがなされている「やまが肝いりどん（結婚支援）事業」である。結婚を望む男女の縁結び活動の推進を図る事により地域で若者を支援する機運を醸成すると共に定住促進や地域活性化、少子化対策に結び付けていく事を目的としている。



夫婦岩神社

有名無実な委員会の状況であるなら、条例の見直しを図りより活性化させる為にも条例の改正が必要と考えるが。

町長 今機能していないやり方ではなくて、新しい枠組み、やり方を検討する時期には来ていると思う。

徳永 昔は世話好きな方々がいて地域を盛り上げて頂いていた関係で結婚問題も深刻ではなかった。古き良き時代の慣習というものを甦らせて人口減少に歯止めをかける観点からは非結婚対策委員会の条例見直しを図って頂きたい。

問 若者が残れるための支援策は



小見田 和行 議員

転入・転出者数 H27.2月末現在

| 24年度 | | 転入 | | 転出 | | 差 |
|------|--------|-----|-----|----|----|---|
| | | 人数 | 人数 | 人数 | 人数 | |
| | 18～20歳 | 14 | 80 | - | 66 | |
| | 21～25歳 | 70 | 92 | - | 22 | |
| | 26～30歳 | 69 | 65 | 4 | | |
| | 31～35歳 | 42 | 48 | - | 6 | |
| | 36～40歳 | 25 | 21 | 4 | | |
| | 計 | 220 | 306 | - | 86 | |

| 25年度 | | 転入 | | 転出 | | 差 |
|------|--------|-----|-----|----|----|---|
| | | 人数 | 人数 | 人数 | 人数 | |
| | 18～20歳 | 17 | 45 | - | 28 | |
| | 21～25歳 | 53 | 99 | - | 46 | |
| | 26～30歳 | 59 | 62 | - | 3 | |
| | 31～35歳 | 45 | 55 | - | 10 | |
| | 36～40歳 | 37 | 31 | 6 | | |
| | 計 | 211 | 292 | - | 81 | |

| (H27.2.28現在) | 26年度 | 転入 | | 転出 | | 差 |
|--------------|--------|-----|-----|----|----|---|
| | | 人数 | 人数 | 人数 | 人数 | |
| | 18～20歳 | 13 | 32 | - | 19 | |
| | 21～25歳 | 49 | 67 | - | 18 | |
| | 26～30歳 | 57 | 54 | 3 | | |
| | 31～35歳 | 39 | 41 | - | 2 | |
| | 36～40歳 | 20 | 25 | - | 5 | |
| | 計 | 178 | 219 | - | 41 | |

小見田 あさぎり町の総合計画において「若者定住」が盛り込まれている。町としても若者が残れる町を目指して、事業、施策を展開しているものの、若者世代の大幅な転出超過が続き、若者が残れていない現状である。そんな中において、20代30代のUターン、Iターンも点々と見受けられるようになってきた。あさぎり町在住の人、帰ってきた人の子育て世代に独自の育成、支援で定住率を上げる考えはないか。

農林振興課長 町単独の支援は非常に難しく、国の制度の青年就業給付金に取り組んでいる。

小見田 Uターン、Iターンの方々の就業状況の調査把握はできているか。

農林振興課長 役場もJAも把握できていない。

小見田 若者が残れる町を目指すなら、若者の動向を調査把握して育成支援し、定住を促す事が基本的な事と考えるが町長の考えは。

町長 帰ってきてくれた方々の相談に乗ったり、コミュニケーションしたりする仕組みがあればと思う。また、町としてUターン、Iターンや自営業に対する支援策を作っておけば、自ら役場に聞きに来られる。そういう事も考えてみたいと思う。

◎その他の質問
校区単位の住民自治を考える「小規模多機能自治」について

問 高齢者の見守りサービスや教育現場でのICTの今後の有効活用は



加賀山 瑞津子 議員

加賀山 ICT(情報通信技術)は、その進捗により福祉・教育の公共分野でも大きく期待されてきている。独居高齢者の見守りなどの場面でICTが活用できると考えるが。又もうひとつの課題として今後団塊の世代の高齢化がある。その対応についてもICTの準備を進めていく必要があるのではないかと。

福祉課長 現在緊急通報装置を一人暮らし、高齢者世帯に一〇〇台程導入している。今の地域見守りにプラスして、今後ICTの活用が必要となる。

加賀山 先日のあさざり中学生議会でも寄贈されたタブレット端末を使った授業について質問があったが、どの様に有効活用していくのか。

教育課長 小・中学校に配置してある電子黒板とタブレット端末を繋いで先生と生徒の双方向の授業ができるような形で一部試行的に実施していきたい。

加賀山 先日複式学級の視察研修で、天草の島子小学校を訪問した。今後町内でも複式学級ができた場合にICTは子ども達の習熟の補助教材としても、先生の負担軽減の面でも有効な手段だと思う。

町長 今後については、現場の先生方の意見や取り組み状況や課題、メリット・デメリットについてきちんと検証して進めていく事が大事だと考えている。

※ICTとは…
 インフォメーション
 ンド コミュニケーション
 テクノロジーの略。日本語では、情報通信技術という。ノートパソコンの登場で、一般の人々にも急速に広まった。今後医療・介護・福祉・教育などの公共分野での活用が期待されている。

問

あさざり中学校通学路の進捗状況について



奥田 公人 議員

奥田 中学校統合時から生徒が通学路として使用している路線の一つに、齊堂区の堤酒造裏から葉山を經由して、神殿原を抜けた平和地区の北門通りにつながる農道で、延長は約1.7キロ程度で、街灯は合計9個設置されている。この道路は、昨年岡原地区の区長さんからも連名で通学路整備の要望が上がっていると思うが、道幅は約3メートルでやや狭いが、車の通行は少なく、通学路としては最短距離で適していると思う。途中に神殿原を流れるヌメリ川があり、道路が交差しており、橋が約90メートル上流に架けられていて、約10メートル程度上流に向かい側の道路が対面しているが、この橋をボックスカルバート等で架け替えができないか伺う。架け替えをして頂ければ、通学路にとっても大変便利になると思う。道路の拡張までは無理と思う



ヌメリ川に橋設置の希望箇所

ので、橋の架け替えによって、より安全な通学路に整備していただけるよう提案したい。

建設課長 ヌメリ川に架かる橋の移設についてお尋ねがあつていますが、この橋を下流側に移した場合、通学距離が約200メートルほど短くなるということ、現場を確認させていただいた。ただ架け替え費用が多くなることから、通学の利便性と費用を比較検証をして、今後検討したい。

問 基金運用におけるガイドラインの

作成について

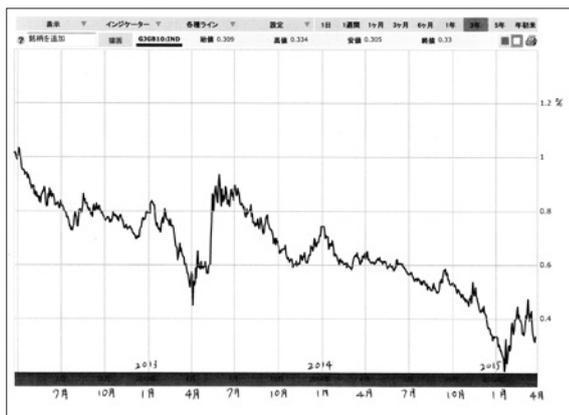
久保 アベノミクスの第1の矢である日銀による金融緩和と国債の買い取りにより、順調に利益を出してきた基金の長期国債による運用も、今後の金利の変動次第では、大きく損失をこうむるリスクも増大している。地方自治法において、資金の運用及び調達、住民の利益を前提に元本の保全、収益性、低コストを指さなければならぬ。

会計管理者 平成16年度から国債での運用が始まり、次第にそのウエートが増えてきている状況である。平成26年度現在で、国債の割合は40%、残り60%を人吉球磨管内の金融機関の定期預金で運用している。

久保 他の地方自治体における基金運用では圧倒的に預金の占める割合が多く98%となっていることに比べると積極的な基金運営が行われていると言え



久保 尚人 議員



10年物国債の金利の動き

るが、基金の管理には、安全性と効率性が求められるため担当職員の高い金融リテラシー（金融に関する知識、情報を正しく理解して、それを自らが判断できること）を磨き続けていく努力をしてもらいたい。

町長 非常にリスクの高い場面に差しかかっていると認識している。あさぎり町の債権運用指針にしたがって運用を行っているが今後40%の運用比率そのものが、適正か議論していく必要がある。

問 上財産区は



皆越 てる子 議員

皆越 合併と同時に、議会の議決を得た条例が、平成15年4月1日施行、又上財産区補助交付規則も例規集にしっかりと取り入れられ、現在進行中である。このような過去、経緯を振り返り平成26年12月定例会にて同僚議員より一般質問があり再度録画を見、議事録を読むと議論の内容はわかるが、^{さか}遡ること6年、平成21年3月10日一般質問の議事録を見ると、課長の答弁では21年度中に財産区の補助金メニューを決定したいと思ふと答弁があつてはいるが、なぜ21年度中に策定できなかったのか。今になって補助金は出せない。公平さに欠ける。こういった事態にはならなかったのではと思うが、21年度中になぜできなかったかお尋ね致したい。

町長 就任1期目の時に議論させ



3月19日 熊本木材(株)上球磨支店 木材市入札状況

てもらった経緯はあるが、アドバイスを何人からか頂いた。上地区のいろんなことの思い出が残った財産ですから、せめて10年ぐらいは、結果としては置いて、その後に議論をした方がいいのではないかとということ深く議論をする事はちよつと控えたと言うのが当時の記憶である。

皆越 二者択一、住民へ説明し理解を求め27年度議会の議決まで行くよう頑張つて頂きたいと思う。

町長 私たち執行部はそういう気持ちで取り組んでいく。

一部事務組合及び常任委員会報告

公立多良木病院企業団議会

平成27年第2回病院企業団議会を3月5日開催。本年度病院、老健及び健診事業会計予算では、3億5千万円の純損失の見込み。大島企業長の施政方針では、基本運営方針として、(1)医師の安定確保、(2)外来患者、病床利用率の安定化、(3)経営基盤の強化、6つの行動計画を掲げ職員一丸となって取り組むことが報告された。



議会で答弁する大島企業長(病院長)

人吉球磨広域行政組合議会

平成27年2月27日(金) 10時より人吉球磨クリーンプラザ大会議室にて開会。会期は2月26日より3月26日迄を休会とし執行部から議案第1号より議案第10号を一括して説明を受け議案第1号から3号迄を議案ごとに質疑、採決を行い原案の通り可決した。

上球磨消防組合議会

平成27年第1回定例会が3月6日開催された。一般会計補正予算では歳入歳出の総額から消防救急デジタル無線整備事業の入札残1億3970万円を減額し、総額9億1540万6千円で原案の通り可決された。

平成27年度一般会計予算では、歳入歳出の総額それぞれ4億8200万円が原案通り可決された。

また、全員協議会では庁舎建設、西分署、広域問題の件で質疑があり議論が交わされた。

建設経済常任委員会

平成27年2月19日(木)～20日(金)にかけて下水道課、建設課所管の視察研修を行った。19日は錦町の流域下水道処理場にて県の下水道環境課主幹より処理状況について説明を受けた。その後福岡県下水道管理センターを視察し処理状況の説明を受けた。翌日は大津町の九州北部豪雨での災害復旧状況と橋の架け替え工事を視察した。



下水道処理場視察

総務文教常任委員会



複式学級授業の様子

2月18・19日、天草市情報政策課、天草市(株)クリエーションWebプランニング、天草市立島子小学校を視察研修。

地域ICT利活用事業及複式学級の現状を調査した。

2月27日、須恵小学校の複式学級に伴う町費負担教職員の採用関連条例について教育委員会から説明を受け、期限を27年度から5年とすること、文化財専門委員の設置を非常勤職員で対応すること等を協議した。

厚生常任委員会

○2月17日（火曜日）午後1時30分より、昨年12月の第6回会議において、委員会付託となっていた「手話言語法（仮称）制定に向けた意見書提出請願書」について審査をした。紹介議員2人からの説明に対する質疑、その後紹介議員退席の後審査をし、委員会としては、「採択すべきもの」とした。
同日、第3次保健福祉総合計画（案）についての調査を行った。

○2月26日（木曜日）福岡県大刀洗町において、「特定健診と保健指導の在り方」について研修した。

翌27日（金曜日）、大分県の中津市、地域サロン「すずめの家」を研修した。



地域サロン沖代すずめの家

東庁舎売却等の中止を 求める請願書が提出される

紹介議員 豊永 喜一
久保 尚人

平成27年3月4日付け熊日新聞で報じられた企業立地協定に関して、町民として多大な不利益を被るおそれがあると思慮されるので、町議会としてかかる事象の背景等について十分な精査と論議を尽くされ、東庁舎売却等の中止を求める件について採択されるよう請願します。

提出者

免田地区 区長 南 俊暢

北川 照

鬼塚 孝

上村 信喜

尾方 球三郎

那須 勝

特別委員会を設置して調査

請願書の提出を受け本会議最終日に、議長を除く全議員により特別委員会を設置し調査をすることにした。

委員長 久保田 久男

副委員長 森岡 勉

永年在職議会議員表彰

3月10日 本町議会、久保田久男・田原健一両議員が、町村議会議員として15年以上在職し功労があったとし、全国・熊本県町村議会より表彰されました。

今後のご活躍を期待します。



あさぎり中学生による 一日議会を2月23日開催

議会活性化特別委員会（小見田和行委員長）で、「開かれた議会」の中で検討してきた事が今回実現できた。これまで何回も議会傍聴を行ない、生徒一人ひとりが日頃、考えている事を執行部へ質問した。一日議会を傍聴した議員も真剣に町のことを考えている



る生徒達の姿に接し将来の町を担う人材が育っていることを大変うれしく思った。

生徒達の感想文を特集しましたので、是非お読み下さい。

50年ぶりの故郷は今



免田東（本町）
原 豊次さん

1月東京より、50年ぶり免田へ。
鹿児島空港で高速バスの切符を購入、1時間程待ちいざ乗車とその時、全指定席と言われ、何も聞かされていないので、仕方なくタクシーに乗る事に。ショックでしたネ。1時間程で免田に着き驚いたのは、商店街の静けさ。活気がなく寂しさを感じました。

翌朝、こちらの寒さにはビックリしました。でも空気が美味しい感じがします。天気の良い日は、山並みが一面に気に入ります。それに免田の人々は、皆親切です。知らない人にも挨拶してくれます。毎日がとてもいい気分になります。スーパーでは、生産者の方々、畑で取れた新鮮な野菜など安く売っています。こんなに安くていいのかなと思うくらいです。年金生活の自分達には助かって居ります。残念なのは、商店街の事です。生産者の方々の新鮮でおいしい野菜やくだもの、又、手作りパン屋さん、食べ物屋さんなどのお店があったら良いなあと感じています。それには、皆さんの協力が必要と思われまます。町長さんにこれからのあさぎり町を期待します。

私の細やかな楽しみ



深田（植の里）
宮崎 恵子さん

数年前、長い間勤めた会社をやめ親の介護を終えた後、周りの諸先輩方のご指導のもと栗園の育成に取り組んでまいりました。毎年秋には実を結ぶようになりました。枝の剪定、夏場の雑草の下刈り等々大変な事ばかりですが、一昨年の秋には近くの保育園の園児さん達がたくさん来てくれて栗の収穫体験をされました。一度にたくさんのお孫をプレゼントしてもらったようなうれしい心持をさせて頂きました。今後は私の健康維持の為にも細々とですが、頑張っ行ってきたいと思っています。畑に通うデコボコ道を今年3月に舗装して頂きました。とてもうれしく感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

編集後記

相追うて種を蒔き居る二人かな 虚子

田には水が張られ、命の育みの季節となりました。

昨年新聞に「地方消滅」という増田レポートが掲載され危機感が広がる中、「いやそうではない、田舎が知恵を出すことで地方は生き残れる」という「里山資本主義」が発行されました。

あさぎり町には、先人の努力で開墾された南部の水田地帯があり、続いて川辺川ダムを活用して発展するであろうと期待された北部地域がありました。

町に広がる水田、畑地、山林どれもが地域の財産です。私たち議員の使命は地域の声をしっかりと聴き、それらをどう活かしていくかであり、それが町の生き残りの鍵だと思えます。1年間町民の皆様の笑顔をテーマに広報誌作りを行ってきました。これからも町民の皆様と共に歩んでいきたいと思

加賀山 瑞津子

編集・発行責任者

議長 橋爪 和彦

広報調査特別委員会

委員長 加賀山 瑞津子
副委員長 橋本 誠
委員 田原 健一
小見田 和行
徳永 正道



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。